



イタリア化すべき日本

特定秘密保護法案が六日の深夜、強行採決、成立した。秘密の定義すらあいまいであるとともに、これをチェックする機関にもわか仕立てで、第三者機関にもなっていない。しかも短期間での審議にとどめ、最後は強行採決。強引なすすめ方には目に余るものがある▼世論調査でも法案への反対が強く、連日、国会周辺では大規模なデモが展開された。しかも国連弁務官やアメリカ国家安全保障会議元高官からも、法案に対する懸念が表明されてきた。まさに議会制民主主義を揺るがす暴挙であり、数にモノを言わせてごり押しをはかる安倍政権の本質を露呈したといえる▼特定秘密保護法の次はTPPか。そして原発の再稼働を着々とすすめようとしており、ファシズム化が著しい。この先の東アジア諸国とのさらなる緊張関係が懸念され、いつか来た道をひた走っていると思えてならない▼イタリアは地方自治の強い国であり、社会的協同組合をはじめ市民・地域レベルでの運動が盛んだ。なぜ、このように地方自治がすすんできたのか。イタリアで普通のおばさん曰く「イタリアの大統領はベルルスコーニですよ。自分たちのことは自分たちで守るしかないでしょう」。日本の政治家もイタリア並みになってきた昨今、日本のイタリア化を徹底して、自分たちで自分たちのことを守っていく。地域から日本を再生していくことが我々に課せられた大課題と考える。

(土着菌)